

互 礼 会 取 材

ご出席いただいた、来賓の方々に広報委員が取材をし、協会に対しての要望等をお聞きしてみました。又、取材ができなかった方々は、新年のあいさつをいただいたなかから、一部を抜粋し、掲載させていただきました。

木村正裕 副知事

きびしい経済状況ではあるが、金融・経済対策などを、地方（県）として、出来ることを、やっていきたい。

仙谷由人 衆議院議員

今、時代は変わりつつある。人口減少社会の中で生き生きとした生活ができるようにしていきたい。宅建業の仕事はなくなることはないのががんばってほしい。（以上、最初のあいさつで）

丁寧な仕事をするのが大事だ。仲介に関する専門的技能の向上をはかり、研究、開発する。そして情報サービス産業として変わっていくべき。資格以外の経営ノウハウも必要では。税制については、取得税、消費税についてまた、住宅の軽減税率について考えたい。今年も政権交代だ。

岡本芳郎 衆議院議員

経済対策、景気対策を実施し、生活、地方、中小企業にお金がまわっていくようにしたい。特に地方対策に力を入れ、世界で一番早く、景気回復を出来るようがんばりたいと思っている。

後藤田正純 衆議院議員

人口が増えないと市場が引き締らない。また、値段も上がらない。徳島県は、人口が80万をきり、どんどん減少している。この度、阿南市那賀川町に自衛隊を誘致し、200～300人、家族を含めると700～800人増えることになりました。こういったなか、“人口一人たりとも、減らさない”という姿勢でいろいろなことを、これからもやっていきたいと思う。

高井美穂 衆議院議員

サブプライムのような新しい問題に対応するには、新しい発想が必要。新しい雇用を創出するために教育等を含む公共事業をやりたい。環境政策や、地域との連携で新しい政治をしたい。今年も新政権となる。皆さんもがんばって。

小池正勝 参議院議員

不動産業は、一番厳しい業種ではないでしょうか。住宅は建たない、お金は貸して貰えない。たいへん厳しいのが今の不動産業界をとりまく状況であると思います。家を建たせなければいけない。建つようにしなければいけない。そこで過去最大規模のローン減税が実施される。又、持金で建てても、投資減税が初めて実施される。このように、選出の先生方と、皆様の手足となってがんばります。

中谷智司 参議院議員

住居は生活の基本。業界の仕事は、生活にとって重要な住環境を良くする仕事だ。現在、民主党内では経済産業担当となっており、金融、経済対策に全力で取り組みたい。業界の人には、元気でがんばってほしい。

北島勝也 県議会議員

元号が「平成」に変わって、満20年の節目を迎えた本年、経済が逆風の中、協会員の一致団結したチャレンジ精神で業界の発展に期待します。

長池武一郎 県議会議員

土地、家屋の有効利用は経済発展の原点です。不動産業者はそれぞれ努力されていると思われませんが、色んな制約やしぼりが多く、思い通りにゆかない時があります。個人や地域との交渉は業者として努力出来ますが、政治的とりきめや法で定

められていることで、個人ではどうしようもないこともあります。時代が変わり、道がついたりしてその土地の適正な利用がなされていないと思われる土地でも、色んなしぼりにより自由に使われていないのです。香川県では用途地域の線引をとりはずしておくように聞きます。徳島県においては線引をとりはずさなくてもよいが、もう少し土地の有効利用がはかれるような政治的配慮をすべく協会として働きかけるべきであります。地方の時代であります。徳島県の土地がより活性化出来ますよう協会としてのご努力に期待しております。

徳島県建築開発指導課 富永秀夫課長

現在は経済危機と言える。このようなときには、人々は住宅投資や土地投資を辛抱する状況となっており、住宅の着工が遅れている。不動産に関わる人には、ぜひ積極的に動いてもらいたい。必要な情報はどんどん提供する。

徳島新聞社理事広告局長 川村廣道様

衣食住のうちで住が一番大切であるので住がひへいするのは大変なことでありますので（住宅は大きな柱ですので）共々協力し発展を期待したい。

徳島新聞社広告局 寺西弘治様

今は消費マインドと雇用不安が住宅売買のネックであるが、買いたい人にとっては大きなチャンスである。宅建協会は、このチャンスであるということを広く人々に知ってもらうように広報して、がんばって頂きたい。